

みなみく ぼうさい 防災マップ

にほんごばん やさしい日本語版

この地図は、災害(地震や大雨)が起きた時の、南区の危ない場所や逃げる場所を知ることができる地図です。

南区役所総務課 令和4年3月発行 〒232-0024 横浜市南区南舟町2-33 電話:341-1225 FAX:241-1151



地震



地震は、急に來ます。
地震が來ると、建物が揺れます。
大きな地震のとき、建物がこわれます。
津波が來ることもあります。



地震の時にやること

家にいるとき

- 自分の頭を守ってください。
- 丈夫なテーブルの下に入ってください。



外にいるとき

- 自動販売機など、倒れそうなものから離れてください。
- 窓ガラスや看板など、落ちてくるものから頭を守ってください。



家が壊れて住めなくなったとき

- 自分に必要なものを持って、家の近くの避難所に行きます。
- 小学校・中学校が避難所(家が壊れて生活できない人が生活するところ)です。
- 水・食べ物をもらうことができます。
- 避難所の場所は、地図で知ることができます。(→避難所のマーク)



ふだんからの準備

- ふだんから逃げる場所と連絡する方法を家族で決めておきましょう。
- 災害がおきると、水や食べ物を買うことが難しくなります。生活に必要なものを家に準備しておきましょう。
- 災害のときは近くの人たちと助け合うことが大切です。ふだんから近くの人とあいさつをして知り合いになってください。



災害のために準備するもの(非常備蓄品)

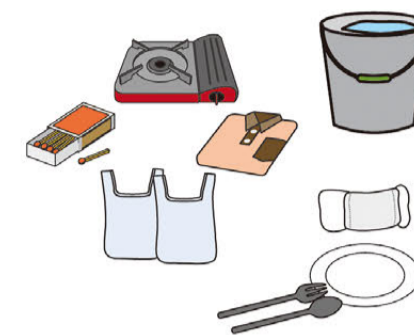
水・食べもの

- 水[3日分程度(1人1日3L)]
- ビスケット
- 缶詰・レトルト食品
- インスタントラーメン
- ビスケット・あめ・チョコレート など



生活用品

- 生活のための水(お風呂やバケツなどにいれておく)
- ライター・マッチ
- 服・下着
- マスク
- 紙皿
- 割りばし・スプーン・フォーク
- ビニール袋
- カセットコンロ・ポンペ など



大雨・台風



たくさん雨が降ることです。6月～10月ごろは大雨・台風が多くなります。台風の時は、風も強くなります。
たくさん雨が降ると、川から水があふれたり、がけが崩れることがあります。
大雨や台風は、くる前にニュースや天気予報でわかります。



大雨・台風が来る前にすること



家族・友達と連絡をするとき

地震や台風のとき、災害伝言ダイヤル「171」を使ってください！
家族や友達と連絡をすることができます。



電話番号171(災害伝言ダイヤル)に電話をする

- 家族や友達に連絡をする(録音する) **1**を押す → **自分の電話番号**を押す → **連絡を話す**
- 家族や友達からの連絡を聞く **2**を押す → **相手の電話番号**を押す → **連絡を聞く**

大雨・台風のときは

- 日頃からテレビやインターネットなどでニュースを確認します。



- 川の近くに行ってはいけません。川から水があふれることがあります。



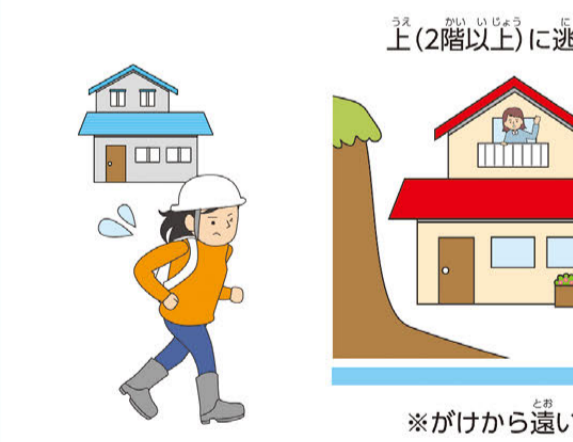
- 山やがけが崩れることがあります。近くに住んでいる人は早めに逃げてください。



逃げる方法

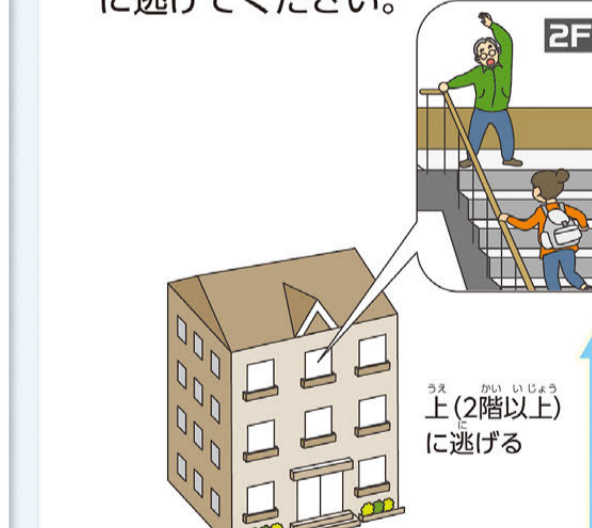
がけの近くに住んでいる人

- 家の外(避難所や知り合いの家)に逃げてください。
- 夜などで外に出るとあぶないときは、家の上の階に逃げてください。



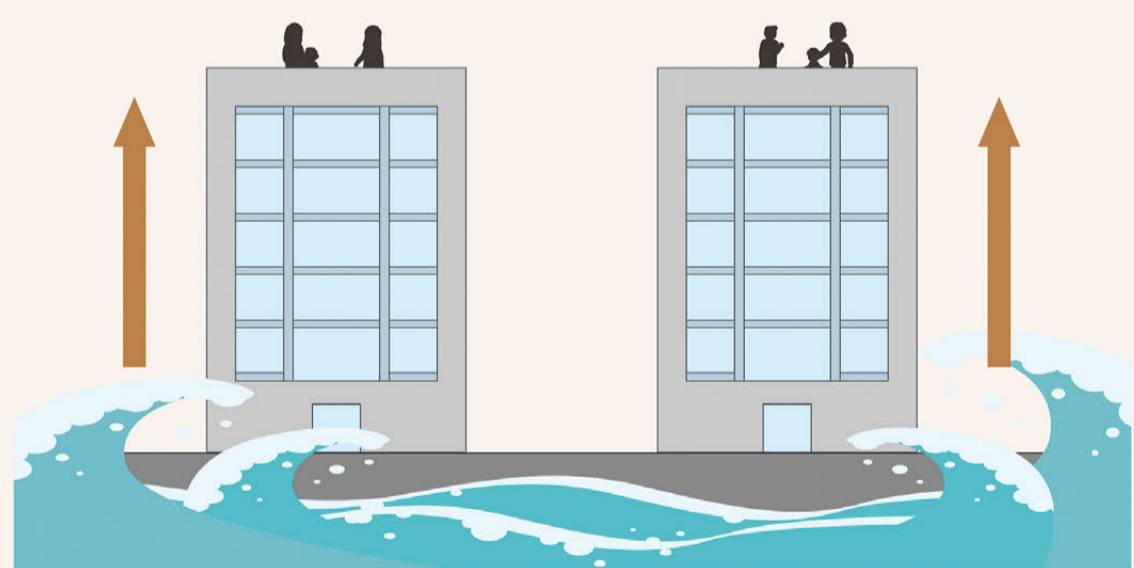
川の近くに住んでいる人

- 家や丈夫な建物の上の階(2階よりも上の階)に逃げてください。

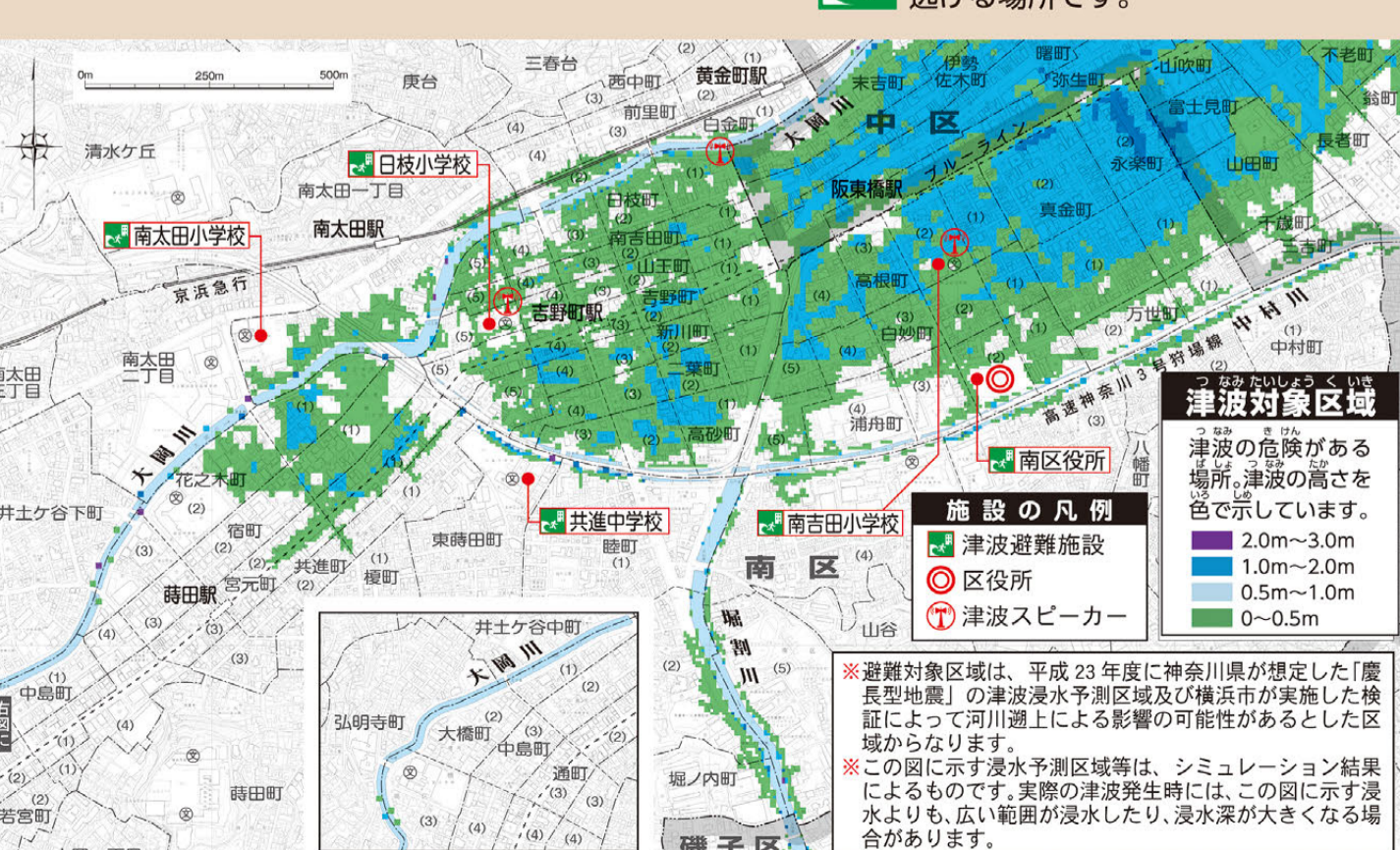


津波の危険があるとき

- 津波は、地震のあとに大きな波が來ることです。とても危険です。
- 津波の時は、海や川から離れてください。
- 津波の時は、高いところへ逃げてください。



避難対象区域図(津波)



『警戒(注意する)レベル』とすること

警戒レベル	すること
5	命があぶないです。命を守ってください。
4	全員、安全なところに逃げてください。
3	元気な人は、逃げるための準備をしてください。高齢者(お年寄り)・妊婦(赤ちゃんがおなかにいる人)は逃げてください。
2	逃げるための準備をしてください。ハザードマップなどで、安全なところを確認してください。
1	大雨が降るかもしれません。テレビやインターネットでニュースを確認してください。

大岡川水系洪水・浸水想定区域図

